

# シンプルでポップなデザイン フィンランド展 日本人の感性に合う

ユホ・ヴィータサロさん講演 県立美術館



フィンランド製品のデザインについて講演するユホ・ヴィータサロさん＝神戸市中央区

県立美術館（神戸市中央区）で開催中の特別展「フィンランドのくらしとデザイン」が住む森の生活」（産経新聞社など主

催）を記念する講演会が11日、館内のミュージアムホールで行われ、青を基調とする同展のイメージパターンを制作したフィンランド人デザイナー、ユホ・ヴィータサロさん（35）が流暢な日本語で「フィンランド人と日本人の共通点はシンプルでデザインを好むところ」などと語った。

講演会ではフィンランド製の皿やグラス、生地などが日本で支持される理由について「シンプルかつポップでカラフルなデザイン性が日本人の感性に合う」と説明。一方で、「建造物など日本のシンプルでデザインを好むフィンランド人も多し」と話し、約250人が熱心に聞き入った。

また、この日は建築家の安藤忠雄氏による講演も行

われた。同展では、フィンランドの生活用品やトウヴェ・ヤンソンが創造した物語の主人公「ムーミン」の原画など約350点を展示。自然との共存を重視する同国のライフスタイルを紹介している。3月10日まで。月曜休館。問い合わせは同美術館（☎078・262・0901）

神戸版

## 「シンプルでポップなデザイン人気」

神戸・フィンランド展 ユホさん講演



兵庫県立美術館（神戸市中央区）で開催中の特別展「フィンランドのくらしとデザイン」が住む森の生活」（産経新聞社など主催）で、青を基調とする同展のイメージパターンを制作したフィンランド人デザイナー、ユホ・ヴィータサロさん（35）の講演会が11日行われた。写真。

ユホさんは、フィンランド製の皿やグラス、生地などが日本で支持される理由について「シンプルかつポップでカラフルなデザイン性が日本人の感性に合う」と流暢な日本語で説明。一方で「建造物など日本のシンプルでデザインを好むフィンランド人も多し」と話し、約250人が熱心に聞き入った。

この日は建築家の安藤忠雄氏による講演もあった。同展は3月10日まで。月曜休館。問い合わせは同美術館（☎078・262・0901）。

大阪版